



石動山長坂道砦



主郭の西側に残る高まりは誉津石権現跡とされる

所在地：石川県鹿島郡中能登町石動山

立地：尾根頂部、標高438m

城主：石動山天平寺

時期：戦国

見学時間（参考）：30分～50分

石動山七口のひとつ、長坂道が砦中央を通っている。長坂道は「石動山山内絵図」には記載されていないが、旧観坊から誉津石古戦場跡を経て、越中の長坂に下る尾根道をいう。砦跡は先端を豎堀状に落とす長大な2本の堀切で尾根を完全に遮断している。



長坂道入口

「太平記」によると、建武2年（1335）10月、後醍醐天皇（南朝方）を離反した足利尊氏（北朝方）に呼応した越中の普門蔵人利清が、同族の井上氏や野尻氏、長沢氏、波多野氏らとともに、越中国司の中院定清を攻めた。定清は、父定平が国司であった能登石動山の衆徒を頼り、石動山に立て籠もる。利清の大軍は石動山を攻め、定清を滅ぼし石動山を焼き尽くしたとされる。南北朝期の石動山合戦として知られる「誉津石古戦場」は、定清が本陣を置いて落命した地であり、焼尾の尾根と伝えられ、長坂道砦辺りとされる。廃村になった焼尾集落は長坂道砦の西の谷筋にあり、主郭虎口の堀切を道代わりに使用し



90度屈曲する主郭虎口



長坂道入口の現存する唯一の院坊、旧観坊



堀切の曲輪側には土塁を伴う

ていたという。

主郭に残る土塁状の高まりや礎石、石塔の一部は江戸時代に主郭にあった誉津石権現（垂仁天皇の第一王子ホムツツケを祀る）の名残である。



南北朝期造立の金剛界大日板碑



いしかわ城郭カードに関する最新情報・お問い合わせ
北陸城郭プロジェクト（フリー・スタイル株式会社）
〒929-0335 石川県河北郡津幡町井上の荘3-9
TEL. 076-204-6046 FAX. 076-289-3943
E-MAIL. contact@j-sampo.com
ホームページ城郭さんぽ <https://www.j-sampo.com/>